

# 「小田川の環境をよりよくしよう」

本単元で育成する資質・能力

「探究力」「思考力・判断力・表現力」「メタ認知力」  
「協働・合意形成意欲」「地域貢献力」「本質を志向する価値観」

※なお、本校では、上記の資質・能力を児童及び教諭間で共有するために、次の名称を用いている。

「自分事の問題追究力」(探究力)、「かんがえ力」(思考力・判断力・表現力)、「ふりかえり力」(メタ認知力)

「みんなと解決したい気持ち」(協働・合意形成意欲)、「引き受ける心」(地域貢献力)「するどい目」(本質を志向する価値観)

## 1 単元について

(15 時間扱い)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
単元	小田川の環境をよりよくしよう(15 時間)											
	神石牛を有名にしよう(55 時間)											

## 2 児童観

### (1) 児童の学習経験や日常の児童の様子から

本学級の児童は、5年生の時に、「小田川をよりよくしよう」という単元で、地域にある小田川で生き物や自然に触れ合う活動を通して、ゴミの不法投棄があったり、生き物が少なかったりすることなどに気づき、小田川の環境をよりよくしたいという思いをもった。児童は、自分たちにできることを考えて小田川の環境改善の取組を実行し、実行したことや協働して取り組んでいきたいことを環境衛生課へ発表し、環境衛生課の方と一緒にできることを模索してきた。これらの活動を通して、地域の課題を発見し、それを引き受けることや、引き受けた課題をもとに解決に向けて追究し取り組もうという態度が育ってきている。しかし、普段の学校生活の中では、教師の指示を待ったり、課題の追究の方針と自分の思いがずれていても、声を上げなかったりするなど学習に対して「受け身」の姿勢が見られることが多い。また、他者の考えに触れる中で自分の考えを深めたり、改めたりするという経験も少なかったため、自他の意見を見直し、合意を形成することが課題としてあげられる。これらのことから、外部の他者と協働して物事を進めたり、外部とのつながりの中で責任や児童にかけられた期待を自覚して追究を進めたりするような単元展開の工夫が必要であると考えている。

## (2) アンケートから

児童の資質・能力及び態度の実態を明らかにするために以下のアンケートを行った。

資質・能力		アンケート項目	結果（人数）		
学習方法	スキル	自分事の問い追究力	授業では解決しようとする課題について「たぶんこうではないか。」「こうすればできるのではないか。」と予想しています。	とてもそう思う	
				そう思う	
	あまりそう思わない				
	そう思わない				
自分自身	スキル	ふりかえり力	授業では、情報を比べたり（比較）、仲間分けしたり（分類）関係を見付けたり（関係付け）して何が分かるのかを考えています。	とてもそう思う	
				そう思う	
	あまりそう思わない				
	そう思わない				
他者や社会	意欲態度	みんなと解決したい気持ち	振り返りをする時、「結局○○ってこういうことだな。」と単元の学びを全て結びつけて考えたり、総合の学習を通して「生きるってこういうことが大切なのかな。」と考えたりします。	とてもそう思う	
				そう思う	
	あまりそう思わない				
	そう思わない				
他者や社会	価値観倫理観	引き受ける心	友達や、地域の人がもっている悩みを解決したり、願いを達成してあげたりしたいと思います。	とてもそう思う	
				そう思う	
	あまりそう思わない				
	そう思わない				

この実態調査により児童は、（以下省略）

### 3 単元観

#### (1) 本学習材のねらいについて

##### 本学習材における「生き方」について

【本質的な問い】小田川をよりよくするにはどうしたらよいのだろうか。

本学習材は、小田川の環境改善を目指す中で、地域の方の課題を自分事として引き受け、他者（児童、公衆衛生推進協議会員、環境衛生課）と協働して取り組む方法を考えたり、取り組む方法をまとめるためにしぶとく合意形成を図り続けていたり、具体的にどのように行動するか、自分で決めようとしたりする生き方に迫ることをねらいとしている。

##### 学習材の魅力（学習材自体の価値や子どもにとっての魅力、GTの生き方）

本単元では、小田川の環境改善について考える単元である。児童は、5年生の学習で、環境衛生課と協働して環境改善に取り組む中で、小田川には不法投棄が多いこと、地域には環境を守るために取り組んでいる人がいることに気づき、自分たちでできる小田川の環境改善の取組をしてきたところである。

本単元は環境衛生課からの依頼として、「新任の公衆衛生推進協議会員の研修の場で、児童に昨年度の取組を発表してほしい」という願いを引き受けることから始まる。子どもたちが自分事として「小田川の現状や改善の取組について提案したい。」という願いをもって活動することができると考える。

また、公衆衛生推進協議会員や環境衛生課とともに実際に環境改善の取組をすることもできる。このように多様な他者と触れ合う中で、自分たちの取組を決めていくことで、児童は他者と協働し、合意を形成していくことよさや難しさを感じるとともにその必要性を感じることもできる単元であると考えられる。

また、様々な外部評価を児童に受けさせることができる。事前に関係者と連携をとり、児童の資質・能力の育成につながるよう意図を共有した上で他者評価を生かしたい。

### 4 指導観

指導にあたっては、以下の工夫を行う。

#### (1) 自分事の問いの追究(主体的な学びの視点)

児童の学びを自分事にさせるために、環境衛生課からの依頼を引き受けるか引き受けないか児童に決定させる。また、昨年度から環境衛生課と連携を取り、児童の願いの一つであった看板作りの予算を確保していただいた。この事実は、児童に伏せておき、児童が提案する中で実現されるように展開したい。これらのことで、児童が「自分たちが行動を起こせば、地域の人たちは協力してくれるし社会を変えることができる。ただし、自分たちの行動は責任をもって決めなくてはならない。」と実感できると考える。

#### (2) 学び合い(対話的な学びの視点)

児童どうして話し合う中で「小さな違いは大きな違いにつながる」ととらえて話し合っている態度を評価し、小さな違いに目を向けさせ、合意を形成させていく。具体的な取組を決定していく中で、決定への責任を意識させ、一つ一つの決定を注意深く話し合っ決めていく場を設定する。

また、多様な他者と話しあう場として公衆衛生推進協議会や環境衛生課の方々と話し合い、取組を決めていく場を設定する。

### (3)深く(深い学びの視点)

生き方について深く考えさせるために、外部評価を取り入れる。具体的には、公衆衛生推進協議会の研修での発表に向けた練習に教頭・教務主任などに参観の協力を得て、中途評価を受けさせる。

また、公衆衛生推進協議会での発表の場を一方的な発表の場ではなく、児童の基調提案に対し、環境衛生課や公衆衛生推進協議会のメンバーの方がコメントをし、よりよい取組にしていくという展開にしていく。

最終的な看板作りについても、児童の描いた看板のアイデアを環境衛生課に評価していただき、実際に看板を作る際のポイントなどを踏まえてアドバイスをもらう場を設定する。

以上のような外部評価を取り入れることで、児童は3（1）に示した生き方を考えることに迫っていくだろう。

## 5 本単元で設定した目標

観点	観点	目 標
学習方法	自分事の問い追究力	・環境衛生課からの依頼を引き受けた上で自分にとっての小田川の課題を明らかにし、その改善策の提案に向けて探究を進め、実行することができる。
	かんがえ力	・5年生の時に調べたり取り組んだりした活動の中から課題を解決する上で適切と考える方法を理由をもって選ぶことができる。
自分自身	ふりかえり力	・作業の進捗状況や自分の取組を振り返り、課題を見付け改善することができる。
	するどい目	・触れ合う大人のように目を向けながら自分の成長を振り返ろうとする。
他者や社会	みんなと解決したい気持ち	・環境衛生課と連携を取りながら、発表内容について話し合ったり、児童どうして取組について意見を出し合ったりしようとする。 ・公衆衛生推進協議会員と話し合いながら一緒にできることを見付けていこうとする。
	引き受ける心	・環境衛生課からの依頼を引き受けて、期待に見合う発表内容を準備しようとする。

## 6 本単元で設定した評価規準

観点	観点	評価規準
学習方法	自分事の問い追究力	・環境衛生課からの依頼を引き受けた上で自分にとっての小田川の課題を明らかにし、その改善策の提案に向けて探究を進め、実行できている。
	かんがえ力	・5年生の時に調べたり取り組んだりした活動の中から課題を解決する上で適切と考える方法を、理由をもって選ぶできている。
自分自身	ふりかえり力	・作業の進捗状況や自分の取組を振り返り課題を見付け改善できている。
	するどい目	・触れ合う大人のように目を向けながら自分の成長を振り返ろうとしている。
他者や社会	みんなと解決したい気持ち	・環境衛生課と連携を取りながら、発表内容について話し合ったり、児童どうして取組について意見を出し合ったりしようとしている。 ・公衆衛生推進協議会員と話し合いながら一緒にできることを見付けていこうとしている。
	引き受ける心	・環境衛生課からの依頼を引き受けて、期待に見合う発表内容を準備しようとしている。

7 指導と評価の計画 (全 15 時間)

過程	時	○学習活動・◆内容	評価規準 (評価方法)
自分事 の問い の設定	1	○環境衛生課からの公衆衛生推進協議会の研修の場で話してほしいという依頼を引き受けるかどうか話し合う。 ◆GTの抱えている課題意識を見つける。 ◆自分たちにできることを考える。	<b>引き受ける心</b> ・環境衛生課からの依頼を、理由をもって引き受けようと決意している。(振り返り)
情報 収集 ・ 整理 分析	2 3	○自分たちにできることを整理し、課題意識ごとに提案内容を定める。 ◆相手や目的に合わせた提案を考える。 ◆「現状－課題－解決策」が一連のつながりのあるものになっているか考える。5年国語科「天気を予想する」の構成を活用させる。	<b>かんがえ力</b> ・相手や目的に応じた提案内容を考えたりその重要性を再認識したりすることができている。(振り返り) ・「現状－課題－解決策」が一貫した提案になるように構成を考えている。(行動観察・振り返り)
	4 5 6 7	○発表に向けて準備をする。 ◆模造紙に「現状－課題－解決策」のつながりが相手に伝わる表現を考える。 ◆教頭、教務主任、養護教諭の評価を受け、見直す。 ◆効果的な音声による表現方法を考える。	<b>かんがえ力</b> ・現状－課題－解決策の構成と、見出し、リード文、写真、挿絵などを効果的に使いながら発表をまとめた模造紙を作成している。(模造紙・振り返り) <b>自分事問い追究力</b> ・質疑応答したり、応答できない問いに対してどのようにして解決していくか決定したりしている。(振り返り)
まとめ 創造 表現	8 9	○公衆衛生推進協議会の初任者研修の場で発表し、よりよい実行計画を協働して立てる。 ◆相手に伝わりやすいように発表する。 ◆大人から尋ねられたり意見を出されたりした時に、答える。	<b>みんなと解決したい気持ち</b> ・公衆衛生推進協議会員と話し合いながら一緒にできることを見つけていこうとしている。(行動観察) <b>ふりかえり力</b> ・今までの取組や自分のがんばりを振り返り、これからの目標を設定しようとしている。(ノート)
整理 分析	10 11 12	○看板のデザインを考える。 ◆看板デザインとその説明を書いたものを作成し、保護者や他の学年の評価を受ける。 →図画工作科で看板デザインの作成 ○公衆衛生推進協議会の人と協働してできる取組についてまとめる。	<b>かんがえ力</b> ・現状の改善に見合ったデザインは何であるか理由を考えて表現している。(振り返り) <b>かんがえ力</b> ・相手を意識して効果的な表現法お方を考えることができています。(発表・振り返り) <b>みんなと解決したい気持ち</b> ・環境衛生課と連携を取りながら、看板について話し合ったり、児童どうして取組について意見を出し合ったりするなかで優先すべき条件を見つけようとしている。(行動観察)
実行	13	○看板を立て、小田川環境をよくする取組を公衆衛生推	<b>引き受ける心</b>

	<p>14 進協議会と共に行う。 ◆地域の方と小田川の環境に関する啓発活動に進んで取り組む。</p>	<p>・他人の願いを自分事として引き受けることのよさに気づいている。 (振り返り)</p>
<p>振り返り</p>	<p>○自分のがんばりや生き方についての考えをまとめる。 ◆学びを関連付け、意味を見出す。 ・今回小田川の看板を立てる中で、大人の人たちとたくさん話し合いました。今までは緊張していたけど、大人の話の話を聞くと納得いくことがたくさんあって自分たちがどうやっていけばよいかとてもよく分かりました。難しい質問を受けても何とか「たぶん」で答えるようにして自分なりでいいので答えようと努力できました。 結局環境を守るということは、ただ環境を守る取組をやればいいのではないと思います。そうではなくて、本当に効果があるのかしっかり考え、いろんな人と話し合っって何をするか決めることが大切だと感じました。これからも本当に効果があるのかと考え、人と話し合いながら物事を決めていきたいです。</p>	<p><b>するどい目</b> ・自身のがんばったことや進めていく上で壁に感じたこと、その時にどのように壁を解決していった経緯と、触れ合った大人のよさに目を向けながら自分の成長を振り返ろうとすることができる。 (振り返り)</p>
	<p>15</p>	

8 本時の展開（1時間／15時間）

(1) 本時の目標

- ・環境衛生課からの依頼を、理由をもって引き受けようすることができる。

(2) 学習の展開

配時	主な発問と児童の反応予想	○指導上の留意点 ☆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準 (評価方法)
10分	<p><b>1 環境衛生課の依頼を紹介する。</b></p>		
30分	<p>6年生の皆さん、去年は、小田川の環境の事について本気で考えてくれてありがとう。私達環境衛生課は、環境をより良くすることが仕事ですが、最終的には、みなさんのようにそこに住む人が本気になって取り組むことが大切だと考えています。だからみなさんの昨年のがんばりに感動しました。そこで、今度行われる公衆衛生推進協議会の研修会で、皆さんが本気になって取り組んでいることを発表してもらえませんか。</p> <p><b>T</b>：このような依頼を受けたのですが、どうしますか。引き受けますか？  <b>C</b>：どうしよう。大人の前で発表するのは緊張するな。  <b>C</b>：でもぼくたちは去年取り組んだんだからできるんじゃない。引き受けてできることはなんだろう。</p> <p><b>2 課題を立てる。</b>  <b>T</b>：今感じている課題は何ですか。  <b>C</b>：環境衛生課の人にはお世話になったし、僕達も色々やってきたから発表はしなくてはいけないと思うんだけど、どんな内容にしたらいかがが分かりません。</p>	<p>○事前に環境衛生課と連携をとり、研修の参加方法について確認しておく。          ○引き受けることに躊躇している子の悩みによりそい、何が悩みかを明らかにしながらそれを解決する方法を話し合わせる。          ○課題意識を発表させ、まとめて課題を設定する。</p>	
5分	<p>引き受けるとしたら、どんな方法でどんな内容を伝えたらよいのだろう。</p> <p><b>T</b>：どんな方法でどんな内容が伝えられるか考えましょう。  <b>C</b>：伝えるんだったら、人口産卵床のつくり方とか、排水の問題を伝えたい。  <b>C</b>：一緒にゴミを拾うとか、看板を立てるとか、実際にやることを話し合いたい。</p> <p><b>3 振り返る。</b>  <b>T</b>：振り返りを書きましょう。  <b>C</b>：去年、ぼくたちで取り組んだものだけでは、効果は大きくありませんでした。今度は地域の人と一緒にできるので、がんばって小田川をきれいにしたいです。</p>	<p>○内容や方法だけでなく、公衆衛生推進協議会員との取組なども含めて考えている児童に意図的に発表させる。          ☆思いつかなくて悩んでいる児童には、昨年度の取組を想起させ、やりたいことをまず見付けさせる。</p>	<p><b>引き受ける心</b>          ・環境衛生課からの依頼を、理由をもって引き受けようと決意している。(振り返り)</p>

8 本時の展開（2時間／15時間）

(1) 本時の目標

- ・相手や目的に応じた提案内容を考えたりその重要性を再認識したりすることができる。

(2) 学習の展開

配時	主な発問と児童の反応予想	○指導上の留意点 ☆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準 (評価方法)
7分	<p><b>1 具体的な方策について話し合う。</b>  <b>T：では公衆衛生推進協議会で発表することを決めていきましょう。</b>                      C：看板作りのデザイン提案です。                      C：生き物を増やす提案です。                      C：水質が汚いのでそのことを伝えたらいいと思います。                      C：ゴミのポイ捨てが多いので、それを減らすことをしたらいいと思います。</p>	<p>○生き物、水質、ゴミなどは目的をもとにしたグルーピングであることに對して、看板作りは方法であることを説明し、看板作りでどのような目的を達成したいのかを考えさせる。                      ○この時点では、看板作りの予算が降りていることは知らせていない。第8、9時に環境衛生課から予算をつけた話を聞くことにしている。                      ○前時の想起から、提案したい内容ごとにグループを作成する。ここで挙げたうち三つ（生き物を増やす提案、水質改善の提案、ゴミを減らす提案）でグループを作成する。これらのグループで今後模造紙に提案内容を書いていく。                      ○5年生の学習を想起させ、伝えたい内容を発表させる。                      ○児童は、まず具体的な看板作りの提案から取り掛かりたいと考えたので、看板デザインを考えていくことにした。</p>	
10分	<p><b>2 進める手順について話し合う。</b>  <b>T：今日は何からとりかかりますか。</b>                      C：看板作りの提案からしたいです。                      C：看板作りの提案をするなら、まず、実際の看板をいろいろ調べたいです。                      C：調べてやるとオリジナルではなくなるから、まず自分で作りたいです。  <b>T：どういう順にしたらよいでしょう。</b>                      C：実際の看板を見て学ばないといいものが作れません。                      C：オリジナルなものを作らないと盗作になります。                      C：だったら、最初に自分たちで簡単にかいてみて、その後実際の看板を調べて、そしてもう一度デザインを考えてみたらいいと思います。</p>	<p>○手順について考えさせ、皆の納得の行く手順で学習ができるようにさせる。                      ○進め方で対立するところを明らかにし、それぞれの思いを出させる。                      ○合意を形成するような意見を探そうとしている態度を評価する。</p>	
18分	<p><b>3 課題を立て看板のラフスケッチをかく。</b>  <b>T：今日の課題は何ですか</b>                      C：看板のデザインを考えようです。                      C：どんな方法や内容を伝えたら</p>	<p>☆かけていない児童がいたら何で悩んでいるのかをしっかりと聞き、児童が大切にしている価値観を評価する。デザインをかく紙を渡しておき、次時まで考える時間を与える。</p>	<p><b>かんがえ力</b>                      ・相手や目的に応じた提案内容を考えたりその重要性を再認識したりすることができる。（振り返り）</p>

10分	<p>いいかを考えないといけません。</p> <p>看板のデザインを考えよう。</p> <p>T:それではとりかかりましょう。</p> <p>4 振り返る。</p> <p>T:振り返りを書きましょう。</p> <p>C:今日僕は時間内にかきおわる事だけを気にしていました。作業が間に合っていなかった〇〇くんは、「どういう人がどういう気持ちでゴミを捨てるのか」深く考えていました。そうやって考えることが大事だと思ったので、このデザインをもっと見直さなくてはいけないと思いました。</p>	<p>○相手意識や目的意識をもって活動しようとしている児童を評価する。</p>	
-----	--	---	--

8 本時の展開（3時間／15時間）

(1) 本時の目標

- ・「現状－課題－解決策」が一貫した提案になるように構成を考えることができる。

(2) 学習の展開

配時	主な発問と児童の反応予想	○指導上の留意点 ☆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準 (評価方法)
7分	<p>1 過去の学習を想起させる。 T：さて、環境衛生課に頼まれた研修会で発表することについてですが、三つのグループを前の時間に作りましたね。今までの学習で、使えるものはありませんか。 C：5年の時の「天気を予想する」では、現状－課題－解決策の順で説明されていて、何が課題かがはっきりするので、解決策を取り入れる大事さが分かりました。 C：「ようこそ私達の町へ」で、目次や見出し、リード文を使うこととか、写真などを使って効果的に伝えることが大事だと習ったからそれを使えばいいです。</p>	<p>○環境衛生課に頼まれた研修会での発表の仕方は、①模造紙をもとに説明、②模造紙を囲んで公衆衛生推進協議会の方々と質疑応答をするという順にすることを説明する。 ○前時の想起から、提案したい内容ごとにグループを作成する。 ○5年生の学習を想起させ、伝えたい内容を発表させる。 ○国語科で学習したことと関連付けさせる。</p>	
28分	<p>2 課題を設定し、グループで発表の構成を考え話し合う。 T：それでは個人で「現状 - 課題 - 解決策」の構成で何を発表するかプリントにまとめ、発表しましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>現状－課題－解決策をはっきりさせた発表の構成を考えよう。</p> </div> <p>C：川に、ゴミが色々と落ちています。ゴミを捨てる人をストップさせることが課題なので、看板作りのデザイン提案をしたらいいと思います。 C：ホタルもいないし、生き物も少ないです。だから解決策として生き物を増やす人口産卵床の提案をしたいです。 C：水質が汚いので、水質をきれいにすることを提案したいです。 C：水質をきれいにするには具体的に何をするのでですか？ C：僕達が5年のときに作った浄水器があるので、それを公衆衛生推進協議会の人と作ってきれいにします。 C：それって、効果があるんですか？ C：すくった水の部分だけは効果があるけど、継続できないので効果は少ないです。</p>	<p>○現状 - 課題 - 解決策をどのように構成するか話し合わせる。 ☆課題に合った解決策かそのつながりを意識できるよう声掛けをする。 ○課題に対する解決策になっているかどうかを観点に話し合わせる。</p>	
10分	<p>3 振り返る T：今日の話し合いで、課題に対して本当に</p>		<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-bottom: 5px;"> <p>かんがえ力</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「現状－課題－解決策」が一貫した提案になるように構成を考えている。(行動観察・振り返り)</li> </ul>

	<p>解決策となっているかどうか話し合っていました。課題と解決策をつなげて考えていたところが「かんがえ力」だなと思いました。</p> <p>C：課題を本当に解決できるか考えて継続することにしようと思いました。</p>	<p>○話し合いのよかった姿を評価する。</p> <p>○相手意識や目的意識をもって活動しようとしている児童を評価する。</p>	
--	--	--	--

8 本時の展開（4，5時間／15時間）

(1) 本時の目標

- ・現状 - 課題 - 解決策の構成と，見出し，リード文，写真，挿絵などを効果的に使いながら発表をまとめた模造紙を作成することができる。

(2) 学習の展開

配時	主な発問と児童の反応予想	○指導上の留意点 ☆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準 (評価方法)
80分	<p>1 模造紙を作成する。</p> <p>T：模造紙に各チームでまとめていきましょう。今までの学習で使えることは前回みんなが発表したように、「現状－課題－解決策」の構成や，見出し，リード文を使うこととか，写真や挿絵などを使って効果的に伝える工夫をすることなどでしたね。それではチームごとに模造紙にまとめていきましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;"> <p>チームの発表を模造紙にまとめよう。</p> </div>	<p>○指導上の留意点 ☆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て</p> <p>○各チームの「現状 - 課題 - 解決策」が一貫したものになっているか確認してから作業に入る。</p> <p>○当日の会場について説明し，①模造紙をもとに説明，②模造紙を囲んで公衆衛生推進協議会の方々と質疑応答があることを説明する。</p> <p>○作業を見ている人が出ないよう「現状役」「課題役」「解決策役」「挿絵役」など分担して作業することを確認する。</p> <p>○模造紙の他に画用紙を渡し，後で模造紙に貼って良いことを伝え，分担して作業しやすくする。</p> <p>☆作業中悩んでいる児童が多い場合は，「現状役」などの役割ごとのグループで相談する時間を取る。</p>	
10分	<p>2 振り返る。</p> <p>T：今日は，作業をうまく分担してやっている班がありました。そして，自分の仕事を一生懸命やっている人がいました。こうやって責任持って進めていくのが「自分事の問い追究力」だと思いました。また，何より今日は，相手に伝わることを考えて模造紙の表現を工夫している人たちがいました。これも「かんがえ力」だと思いました。</p> <p>C：今日は，新聞を見本にして，リード文を考えました。使える写真を見つけたので次回は写真を貼り，相手に伝わるようにしたいです。</p>	<p>○作業の途中で各チームから1名他の作業をしているチームの様子を見に行かせる。その際必ず自分たちの発表に取り入れるべき表現の工夫を一つ以上見つけて，チームに伝えることを確認して様子を見に行かせる。</p> <p>○相手意識や目的意識をもって効果的に表現しようとしている児童を評価する。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <p><b>かんがえ力</b></p> </div> <p>・現状－課題－解決策の構成と，見出し，リード文，写真，挿絵などを効果的に使いながら発表をまとめた模造紙を作成している。（模造紙・振り返り）</p>

8 本時の展開（6，7時間／15時間）

(1) 本時の目標

- ・ 質疑応答したり，応答できない問いに対してどのようにして解決していくか決定したりする。

(2) 学習の展開

配時	主な発問と児童の反応予想	○指導上の留意点 ☆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準 (評価方法)
30分	<p>1 模造紙を仕上げる。 T：前回の振り返りをもとに模造紙を完成させましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>模造紙を完成させ，予想される質問とその答えを考えよう。</p> </div>	<p>○授業前に作成途中の模造紙に，教師の評価として付箋を貼っておく。観点は，①構成②効果的な表現③悩んで止まっているところに対する助言である。悩んで止まっているかどうかの判断は，前時の活動の様子及び児童の振り返りの記述から判断する。</p>	
20分	<p>2 発表練習をする。 ・ 全体の前で模造紙をもとに発表する練習をする。</p>	<p>○前回の振り返りを想起させ，模造紙作成に必要なことを考えさせる。 ○模造紙を見て，予想される質問を付箋に書き，模造紙に貼らせる。他のチームに対しても予想される質問を書かせ，貼り合わせる。</p>	
15分	<p>3 質疑応答の練習をする。</p>	<p>○「たぶん，でも，きっと」の副詞や接続詞を示し，答えるのが難しい質問にも推論しながら答えさせる。 ○付箋紙の質問を答えられるもの，答えられないものに分類させる。</p>	
15分	<p>4 発表する。</p>	<p>○教頭，教務主任，養護教諭に発表を聞いてもらい，児童に評価を受けさせる。</p>	
10分	<p>5 振り返る。 T：今日は，「たぶん，でも，きっと」を使いながら受け答えをしました。難しい問題でも自分で考えながらなんとか話そうとしていた人は「かんがえ力」を使っているなと思いました。反対に，今は答えられないから調べないといけないと考えている人もいました。これはまさに「自分事の問い追究力」です。振り返りを書きましょう。 C：今日は，〇〇くんの質問で，「人口産卵床はどれくらい効果があるのですか」と言われたのがドキッとしました。実際やってみたら，貝の仲間しか増えなかったので他の人たちの人口産卵床はどんな効果があったのか調べたいです。</p>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p><b>自分事の問い追究力</b></p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 質疑応答したり，応答できない問いに対してどのようにして解決していくか決定したりしている。(振り返り)</li> </ul>

8 本時の展開（8，9時間／15時間）

(1) 本時の目標

- ・公衆衛生推進協議会員と話し合いながら一緒にできることを見付けていこうとする。
- ・今までの取組や自分のがんばりを振り返り、これからの目標を設定する。

(2) 学習の展開

配時	主な発問と児童の反応予想	○指導上の留意点 ☆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準 (評価方法)
20分	<p><b>1 課題を確認し、会場に移動する。</b></p>	<p>○模造紙を壁面に貼り、環境衛生課の進行で始める。参加者は環境衛生課3名、一般財団法人広島県環境保健協会1名、公衆衛生推進協議会およそ20名</p>	
15分	<p><b>2 基調提案をする。</b></p> <p>・全体の前で模造紙をもとにグループごとに発表する。(5分ずつ3グループ)</p>	<p>○付箋を用意しておき、公衆衛生推進協議会の方々にコメントを書いていただく時間を取る。</p>	
25分	<p><b>3 質疑応答をする。</b></p> <p>・模造紙を机の上に置き、3つの班に分かれ、公衆衛生推進協議会の方に見て回っていただき、質疑を受け、答える。</p>	<p>○公衆衛生推進協議会の方々に付箋を貼りながら、各グループを回っていただき児童と質疑応答をしていただく。観点としては、①実際にやってみたいと思うか②やりたいと感じたのはなぜか、やりたくないと感じたのはなぜか。</p>	<p><b>みんなと解決したい気持ち</b></p>
10分	<p><b>4 一般財団法人広島県環境保健協会、公衆衛生推進協議会、環境衛生課の評価を受ける。</b></p> <p>○一般財団法人広島県環境保健協会</p> <p>多くの学校の発表を見ることがあるけれども、6年生のみんなは、ただ発表するだけでなく、地域の人たちと質疑応答しながらどうやって取り組んでいくかを決めようとしているのがすごいと思いました。</p> <p>○公衆衛生推進協議会</p> <p>私達が今から地域の環境を守っていく役割を担っていくのですが、小学生のあなた達が頑張ろうとしている。その姿に本当に感動しました。私達も責任持って仕事をしていかなければならないと思いました。</p> <p>○環境衛生課</p>	<p>○答えられない質問には、予想であることを前置きしてから「たぶん、でも、きっと」を使いながら答えさせる。</p> <p>○事前に環境衛生課を通じて肯定的な評価をいただけるよう伝えておく。</p> <p>○いただいた評価を校内にも掲示し、振り返りに活用する。</p>	<p>・公衆衛生推進協議会員と話し合いながら一緒にできることを見付けていこうとしている。(行動観察)</p>

<p>20分</p>	<p>みんなが本当によく調べていて、相手に伝わりやすいように発表していてすごいと思いました。みなさんが提案された看板作りについてなんとか実現できるように一緒に頑張っていきましょうね。</p> <p>5 学校へ移動し振り返る。</p> <p>T：今日は、色々な人にほめられましたね。みんなが一生懸命やっている様子を見て、大人の方が「もっとがんばらないと。」と言っておられました。また、みんなが地域の人と一緒に解決していこうとする姿もほめてもらいましたね。受け答えでは、「たぶん、でも、きっと」を使いながら受け答えをしました。難しい問題でも自分で考えながらなんとか話そうとしていた人は「かんがえ力」を使っているなと思いました。反対に、今は答えられないから調べないといけないと考えている人もいました。これはまさに「自分事の問い追究力」です。振り返りを書きましょう。</p> <p>C：去年から色々なことを調べたりして小田川のことを考えてきたけど、今日、たくさん人の前で発表して、みんながやる気をもってくれたし、私自身も発表中にいろいろ質問を受けてドキドキしたけど、何とか答えようとすることができました。今度から看板作りに向けてがんばりたいです。</p>		<p><b>ふりかえり力</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今までの取組や自分のがんばりを振り返り、これからの目標を設定しようとしている。(ノート)</li> </ul>
------------	---	--	--



<p>5分</p>	<p>いてこれでいいのか？というメッセージを伝えたいです。</p> <p>3 デザインを5つに絞る。</p> <p>T：それでは、デザインを5つに絞っていきましょう。再度投票してください。</p>		
<p>5分</p>	<p>4 振り返る。</p> <p>T：投票の結果、この5つを提案することになりました。今日残念ながら外れてしまった人もいますね。小田川をよりよくしようと考えて外れてしまった人の気持ちはどうなるのでしょうか。大丈夫です。今回提案するのは原案です。環境衛生課の方に提案後、あなたたち一人ひとりの意見をしっかり作品の中に入れていってください。振り返りには、今日投票した作品に投票した思いや理由を入れて振り返ってください。</p> <p>C：僕のデザインは、落選してしまったけど、生き物を増やしたいなと思っていて、〇〇さんのデザインは、環境のよい場所に住む生き物を描いていたのでいいなと思ったので投票しました。</p>		<p><b>かんがえ力</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状の改善に見合ったデザインは何であるか理由を考えて表現している。(振り返り)</li> </ul>

## 8 本時の展開 (11 時間 / 15 時間)

### (1) 本時の目標

- ・自分が選んだ看板のデザインについて環境衛生課に説明する準備をすることを通して、相手に伝わるよう効果的な表現方法を考えている。

### (2) 学習の展開

配時	主な発問と児童の反応予想	○指導上の留意点 ☆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準 (評価方法)
8分  10分  8分  14分  5分	<p><b>1 課題を設定する。</b> 環境衛生課の人によさが伝わるよう説明を考え準備しよう。</p> <p><b>2 環境衛生課来校の際の役割を考える。</b> T：会を進める上でどんな役割が必要ですか。 C：司会と挨拶と、会場準備があると思います。 T：では、その役割で決めていきましょう。</p> <p><b>3 自分が投票した作品について、そのよさを説明する準備をする。</b> T：自分が選んだデザインについて説明できるように、準備をしましょう。後で班のメンバーの半分が環境衛生課の人になりきって質問をする時間をとります。本番で答えられるように準備をしましょう。</p> <p><b>4 環境衛生課役と説明役に分かれて質疑応答の練習をする。</b> T：それでは説明の練習を始めましょう。 C（環境衛生課役）：このデザインの売りは何ですか。 C：このデザインは、今は小田川にいないのですが、きれいな川になれば増える生き物をたくさん描いています。こんな川にしたいと思ってもらえると思ったので、このデザインをお奨めします。 C（環境衛生課役）：この生き物は何ですか。 C：これは、カワゲラです。この表を見てください。きれいな川になるとカワゲラが増えるとあります。 C（環境衛生課役）：カワゲラは成虫になるとどんな生き物になるのですか。 C：すみません。調べていませんでした。調べておきます。</p> <p><b>5 振り返る。</b> T：実際に話してみてどうだったでしょう。うまくいかなかったところを準備しておくとおくと本番はうまくいきそうですね。 C：絵を指し示しながら話せました。本番は、敬語に気をつけたいです。</p>	<p>○指導上の留意点 ☆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て</p> <p>○環境衛生課の方に各作品のブースを回っていただき、そこで質疑応答を受け、最終的に評価してもらおうという当日の進行の仕方について説明する。</p> <p>○司会進行役と挨拶役、会場準備役の役を誰が担うか決定させる。その際、司会役、挨拶役には、今まで挑戦機会の少なかった児童を優先させる。</p> <p>○後の質疑応答の時間を意識させ、説明の準備をさせる。 ☆自分の小田川への思い、自分が薦めるデザインを見た人がどんな気持ちになってもらえるか考えさせる。</p> <p>○環境衛生課役には首からかける名札をつけさせ、役割を意識させる。</p> <p>○実際に環境衛生課の方と受け答えするように質疑応答は敬語で行わせる。</p>	<p>評価規準 (評価方法)</p> <p><b>かんがえ力</b> ・相手を意識して効果的な表現法お方を考えることができる。（発表・振り返り）</p>

## 8 本時の展開 (12 時間 / 15 時間)

### (1) 本時の目標

- ・環境衛生課と連携を取りながら、看板について話し合ったり、児童どうしで取組について意見を出し合ったりするなかで優先すべき条件を見つけようとする事ができる。

### (2) 学習の展開

配時	主な発問と児童の反応予想	○指導上の留意点 ☆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準 (評価方法)
15 分	<b>1 課題を確認し会を始め、各デザインの説明をする。</b>		
	<b>看板デザインで優先すべき条件を見つけよう。</b>	○会をはじめる前に、環境衛生課の方と打ち合わせをしておき、デザインを一つに絞るのではなく、デザインを選定する上で実際に大事にしている条件や、各デザインへのコメントをお願いしておく。	
10 分	<b>2 環境衛生課の方の講評を聞く。</b>		
15 分	皆さんの絵を見させていただきました。どれも工夫があつて素晴らしい。ただ、どれも採用できません。私たちが看板を立てるときに大事にしていることがあります。1つはどのようにしたいか未来を描くこと、それから字と絵のバランスです。どれも字が小さくメッセージが伝わりません。字はデザインの3分の1以上の面積を使うようにしています。看板作りには、町の人々のお金がかかっています。もう一度デザインをよく練り直して考えてみてください。よい看板が出来上がるのを楽しみにしています。		
15 分	<b>3 講評をもとに、デザインと担当を選定する。</b>	○環境衛生課の方には、講評後退席して頂き、児童のみで授業を進める。	
	<b>T: どうやってデザインを選んでいけばいいですか。</b>	○環境衛生課の方が出された条件を確認し、条件と合致する作品を選定し、その作品を改善するポイントを考えさせる。	<b>みんなと解決 したい気持ち</b>
	<b>C: デザインを考えるとときに文字を大きくしたり、未来を描くことが大切なのがありました。</b>	○児童の話し合いの結果としてデザインを一つに絞る。	・環境衛生課と連携を取りながら、看板について話し合ったり、児童どうしで取組について意見を出し合ったりするなかで優先すべき条件を見つけようとしている。(行動観察)
	<b>C: よい未来を描いているのは、〇〇くんの作品だからそれにしたらいいと思います。</b>		
	<b>C: 文字の大きさは、変えないといけません。</b>		
	<b>T: そうですね。それでは〇〇くんのデザインを元に、看板を作っていきますよ。看板作りの担当になりたい人いますか。</b>	○看板の絵はA3画用紙に描き業者に提出する。そのため全員の作業にできない。代表の担当を決め進捗状況を全員に時折示しながら作品を完成させていく。作品作りは休憩時間等に行う。	
5 分	<b>4 振り返る。</b>		
	<b>C: 今日は、環境衛生課の方に話して緊張しました。でもどんな条件を大切にしているか分かったのでよかったです。</b>		

## 8 本時の展開（13, 14 時間／15 時間）

### （1）本時の目標

- ・看板を実際に立て、公衆衛生推進協議会の方々と地域を回って進んで啓発活動をする。

### （2）学習の展開

配時	主な発問と児童の反応予想	○指導上の留意点 ☆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準 (評価方法)
20 分	1 課題を確認し、小田川に移動する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">地域の方々と看板の除幕式を行おう。</div>	○学活の時間に担当を決めておく。 ○事前に一般的に除幕式という儀式があることを児童に伝えておき、そのような式を行うかどうか、決めさせておく。	
15 分	2 看板の除幕式を行う。 (1)開式宣言（児童代表） (2)主催者挨拶（児童代表） (3)来賓祝辞（環境衛生課課長） (4)来賓紹介（児童代表） (5)ロープを持ち写真撮影 (6)除幕 (7)ファンファーレ (8)閉会	○除幕式の式の進行を児童に担当させる。 ○ファンファーレ用に金管楽器を持参させる。	
25 分	3 近所を回り、啓発活動を行う。	○公衆衛生推進協議会の方と一緒に近所を回る。 ○地域の方に看板を立てたことや、ゴミの不法投棄などについて啓発活動をさせる。	
20 分	4 三和小学校へ移動する。		
10 分	5 振り返る。 C：環境衛生課の人に頼まれて、最初はできるかな？大人の前で発表するのは大変だなと思ったけど、実際に発表したらみんな認めてくれたし、今日看板を立てることができて、頼みを引き受けてよかったです。	○環境衛生課の方の要請を受けて発表し、看板を作った経緯を振り返り、引き受けて看板を立てた感想を振り返らせる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">引き受ける心</div> ・他人の願いを自分事として引き受けることのよさに気づいている。 (振り返り)



<p>22分</p>	<p>は緊張したけど、いい意見をくださったね。</p> <p>・完成した看板の除幕式の写真</p> <p>C：みんなで頑張った結果、除幕式までたどり着いたね。これで川がきれいになるといいね。</p> <p><b>3 振り返る。</b></p> <p>T：本当に君たちは今まで頑張ってきたね。その成果として看板を立てることができました。地域の人もいろいろと協力してくださりました。自分がいつもより頑張れたこと、環境を守っていきって結局どうということなのか、今の気持ちを振り返りに書いてください。</p> <p>C：今回小田川の看板を立てる中で、大人の人たちとたくさん話し合いました。今までは緊張していたけど、大人の人話を聞くと納得いくことがたくさんあって自分たちがどうやっていけばよいかとてもよく分かりました。難しい質問を受けても何とか「たぶん」で答えるようにして自分なりでいいので答えようと努力できました。</p> <p>結局環境を守るということは、ただ環境を守る取組をやればいいのではないと思います。そうではなくて、本当に効果があるのかしっかり考え、いろんな人と話し合って何をするか決めることが大切だと感じました。これからも本当に効果があるのかと考える、人と話し合いながら物事を決めていきたいです。</p>	<p>○振り返りの観点として6つの資質・能力を示す。</p> <p>○生き方について考えるために「結局環境を守るということは…」という文を使うよう指示する。</p> <p>☆書いて表現しにくい児童には受け答えしながら思いを引き出し書かせる。</p>	<p><b>するどい目</b></p> <p>・単元全体を振り返り、自身のがんばったことや進めていく上での課題や、その課題をどのように解決していったかという経緯と、地域の人と触れ合うことよさや、触れ合った大人のよさに目を向けながら自分の成長を振り返ろうとすることができている。 (振り返り)</p>
------------	--	--	---